



茶の薫る丘

学校だより 第4号
開校43周年

令和4年7月1日発行

生徒も先生も学びあう関係・聴き合う関係

早いもので、もう7月。1学期も残すところ3週間になりました。生徒にとって今学期はどうだったでしょうか。充実した活動ができたでしょうか。しっかりと1学期を振り返り、夏休みに備えて欲しいです。

さて、6月24日（金）に本年度も、「学び合い学習」授業研究会を開催しました。昨年に引き続き、学びの共同体スーパーバイザーの谷井茂久先生をお呼びして、授業研究会を企画したところ、市内外の先生方や入間市教育委員会の先生方がおみえになり、3学年の理科の授業を参観しました。

「学び合い学習」とは、これまでのように教師が教え、与え、練習を重ねることによって生徒の問題解決能力の向上を図る学習と違い、教材や課題を基に生徒同士で主体的に解決を目指し、その過程で思考・工夫することによって、学びを深めるとともに、生徒の学び意欲を高めることを目指す学習です。

今回の研究会で私たちが学んだことを通して生徒の成長を図るためには、私たち教師全員で取り組むこと、教師間に学び合う関係性を築くこと、良い教材や課題を準備すること、生徒間に聴き合う関係性を醸成すること、安心感・平等感の教室をつくることなど、様々なことが大切になります。また、学習場面では、黒板に向かう一斉形式ではなく、本校で取り組んでいるコの字型座席での共有やペア、4人組での協同など状況に応じて適切に設定していく必要があります。

黒須中学校の「学び合い学習」も6年目を迎えましたが、一朝一夕に実現できることではなく、終わりなき取組です。だからこそ、教師全員で目指す価値とやりがいのあるものと捉え、一層努力して参ります。

今後も生徒が学び合う関係や聴き合う関係を大切にするとともに、教師同士も学び合う関係・聴き合う関係を大切に、一人残らず生徒の学びを保障する学校を目指して参ります。

入間市立黒須中学校 校長 砂田 一

コロナ禍により制限されていた活動や行事が、少しずつですが、戻りつつあります。今年度、修学旅行や校外行事を予定通りに実施することができました。また、6月16日には、過去2年間行うことができなかった地域の方々との情報交換会である「民生児童委員連絡協議会」を開催することもできました。感染対策を講じながら、地域・ご家庭と連携し、今後も進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。